



学校だより

明るく 楽しく 元気よく

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる
さしのべる 生きている」

令和8年5月28日

大田区立糎谷中学校

校長 田崎 陽一 No.2

肌寒さを吹き飛ばす熱気と団結の絆 ～体育祭を終えて～

5月としては肌寒く、どんよりとした曇天のもとでの開催となりましたが、先週末に挙行いたしました「令和8年度 体育祭」は、その肌寒さを吹き飛ばすほどの熱気に包まれ、大盛況のうちに幕を閉じました。

今年度のスローガン『気炎万丈～燃え上がれ闘志の炎～』の通り、生徒一人ひとりが自らの可能性に挑み、クラスの絆を深めた素晴らしい一日となりました。曇り空を裂くような生徒たちの歓声と、文字通り激しく燃え上がるような「闘志の炎」を前にして、強い感動を覚えました。

心を一つに繋いだ学年種目

今年度は、日頃の練習の成果が遺憾なく発揮された、見応えのある学年種目が目白押しでした。グラウンドから見守った各学年の勇姿を振り返ります。

● 1年生「台風の日」

中学校に入学してわずか2ヶ月。まだ初々しさの残る1年生ですが、息を合わせて力強くコーンを回る姿には、中学生としての頼もしさが溢れていました。外側の生徒が必死に走り、内側の生徒が軸をしっかり支える、その絶妙なチームワークに大きな成長を感じました。

● 2年生「大縄跳び」

クラスの団結力が最も試される種目です。肌寒い風の中でも、声を掛け合い、タイミングを合わせることで、本番では見事な連続ジャンプを披露してくれました。引っかかっても「どんまい！」「次いこう！」と励まし合う声が響き渡り、互いを思いやる心の育ちを実感いたしました。

● 3年生「大ムカデ」

最高学年の意地とプライドが光った圧巻のレースでした。全員の足を結び、一歩間違えれば転倒するというプレッシャーの中、「右、左！」と地響きのような掛け声を合わせ、猛スピードで進む姿は迫力満点でした。転んでもすぐに立ち上がり、全員でゴールを目指す姿に、まさにスローガンを体現する最上級生としての強い絆と執念を見ました。

陰で支えたリーダーたちの功績

今回の体育祭の成功は、体育委員や各委員会・系の生徒たちの尽力なしには語れません。

年度当初からの短い準備期間の中で計画を立て、当日は自分の競技だけでなく、道具の準備やアナウンス、誘導などに主体的に駆け回ってくれました。誰かのために自ら進んで動く、そんな頼もしい3年生の背中には、1・2年生の目にとっても大きく、かっこよく映ったはず。この素晴らしい伝統は、確実に次へと受け継がれました。

行事の熱量を次のステップへ

大きな行事を終え、生徒たちは一回りも二回りも逞しく成長しました。体育祭を通じて得た「仲間と協力する大切さ」や「最後まで諦めない粘り強さ」は、これから本格化する部活動の大会（中体連）や、日々の学習の場でも必ず大きな力となります。

熱い5月を乗り越えたエネルギーを未来への糧に変え、さらに充実した学校生活を送れるよう、教職員一同、一丸となって教育活動に邁進してまいります。

保護者・地域の皆様へ

肌寒い気候の中、朝早くから温かいご声援とお拍手を送り続けてくださった保護者の皆様、そして日頃から本校の教育活動を温かく見守り、ご理解・ご協力をいただきました地域の皆様に、心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援をよろしく願いいたします。